

- J社は電気工事全般を取り扱っており、社員は営業・設計・施工・管理までトータルで担当する。
 - J社は、いい人材の発掘手段の一つとして若年者等正規雇用化特別奨励金を活用している。そのため、正規雇用まで見据えて可能性があると感じた人材にしか内定は出さない。
 - 採用担当者である取締役は、これまでに何人もの、いわゆるフリーターと呼ばれる若者を面接してきた。取締役によると、「フリーターは正社員になることを目標としてしまっている場合が多い。」とのことである。
 - そこで、J社では、「正社員になること」の次のステップとして、「電気工事士の資格取得」を明確な目標として設定し、会社としても、資格取得のための講習に参加させる等、金銭面・時間面ともに全面的にバックアップしている。そして、資格取得後は、小さな工事現場を任せられるようになり、徐々に大きな現場の責任者となっていく。
- J社には、すでに資格取得まで進んだ元フリーター社員が2人いる。取締役は「2人は電気工事を自分の仕事としてとらえている。資格まで取って、もう後戻りは出来ないでしょう」と笑う。
 - 電気工事業界では独立してやっていけることが最終目標の一つの形であり、J社にも、ほぼ専属のパートナーとして働いてくれている元社員が数名いる。上記の元フリーター社員が着実に経験を積み、独り立ちしていく日がいずれ来るかもしれない。